

令和4年1月

令和3年 10月 ~ 12月期 実績
令和4年 1月 ~ 3月期 見通し

中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

目 次

主要景況項目の動き	2
業況天気図	3
全産業の推移	4
製造業の推移	7
建設業の推移	11
小売業の推移	15
サービス業の推移	19
全産業の過去データの推移 * 平成15年1月以降	23
[集計資料]	

D・Iとは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加（上昇・好転）企業割合から減少（低下・悪化）企業割合を差し引いたものです。

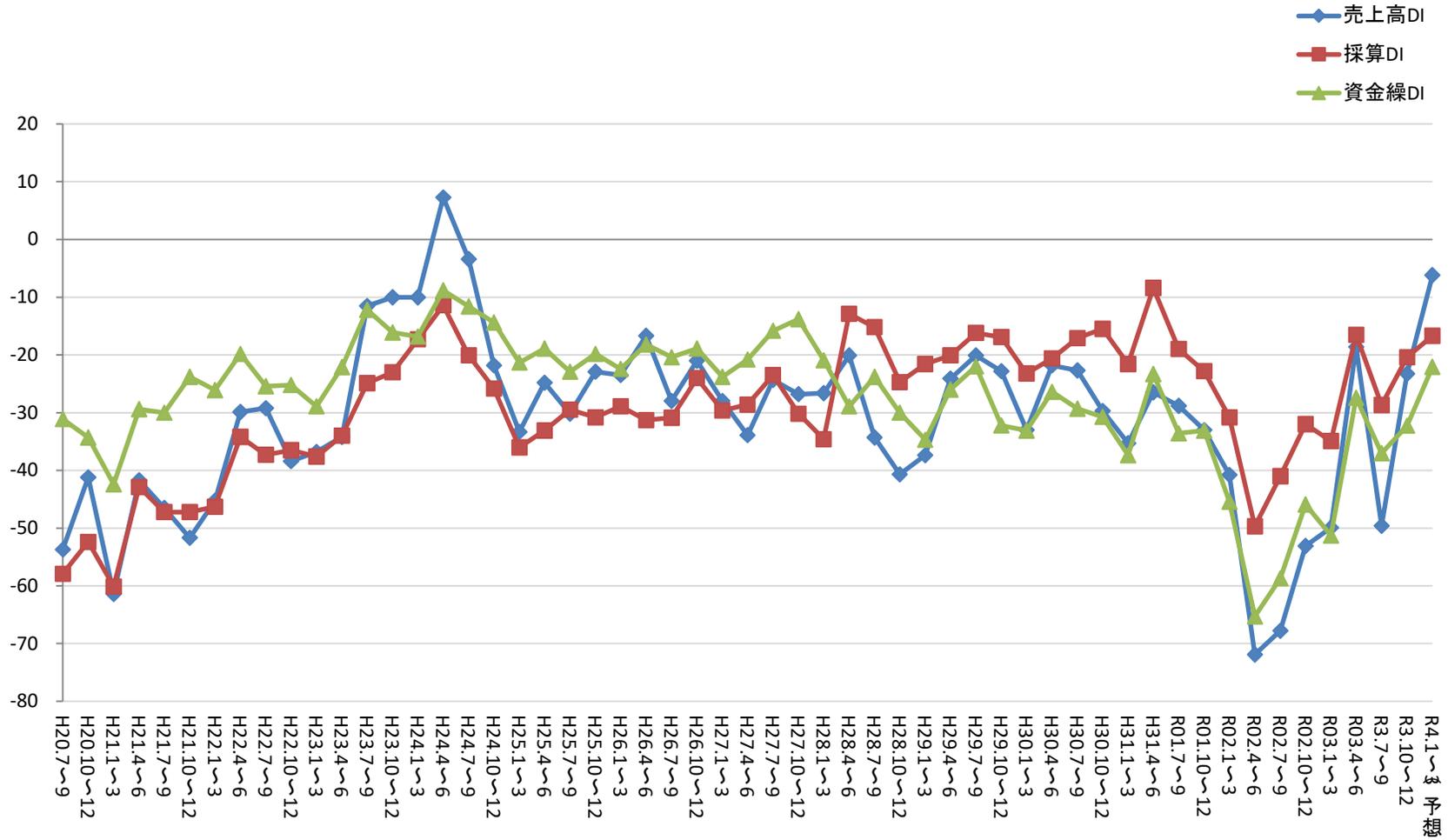
D・Iがプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、D・Iは $50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。

[岩手県 産業全体]

主要景況項目の動き ー前年同期比ー



業 況 天 気 図

業 種	期 間				令和3年			(今期)	(見通し)
	令和2年 1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	令和4年 1~3月
製 造 業	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 薄 曇	 曇	 曇	 薄 曇
建 設 業	 薄 曇	 雨	 雨	 雨	 雨	 曇	 雨	 曇	 曇
小 売 業	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨
サ ー ビ ス 業	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 曇	 雨	 曇	 薄 曇

売上高DI	100.0 ~30.1	30.0 ~10.1	10.0 ~△10.0	△10.1 ~△30.0	△30.1 ~△100.0
表 示	 快 晴	 晴	 薄 曇	 曇	 雨

全産業の推移

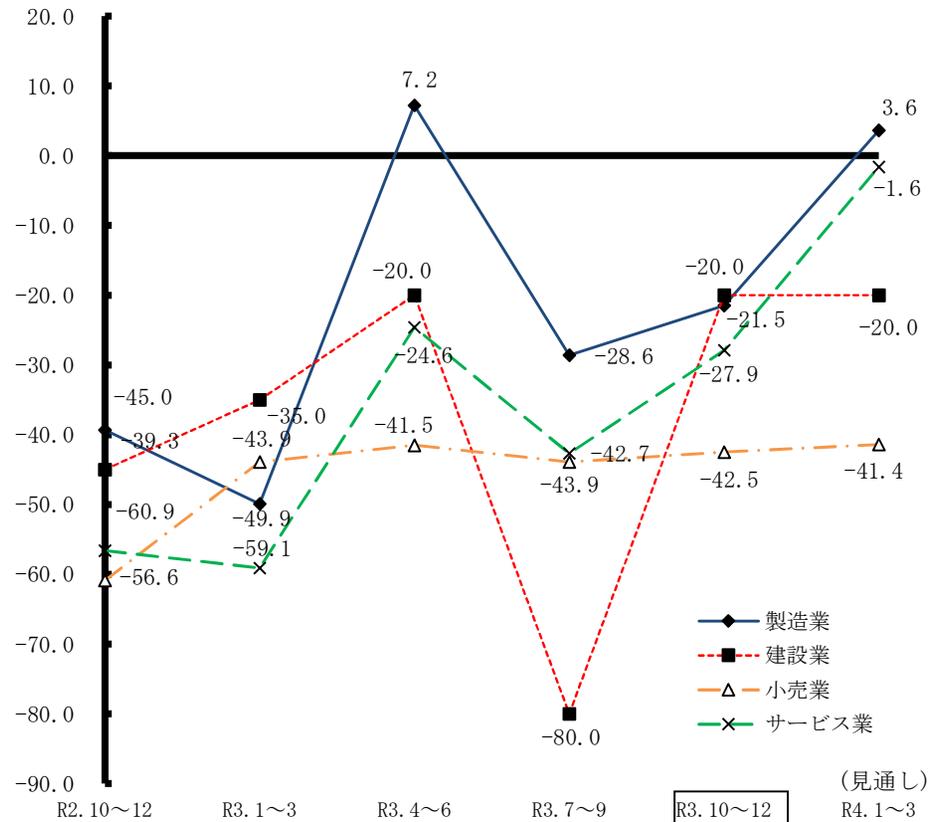
売上高

**全業種において売上高D・Iが改善
建設業が大幅に回復**

今期は、全業種が改善となりました。特に建設業は60.0ポイントの大幅な上昇となり、△20.0まで改善しました。製造業も7.1ポイント上昇して△20.0まで改善しています。サービス業も14.8ポイント上昇して△27.9まで改善しました。小売業は1.4ポイントの小幅な上昇にとどまりました。

来期は、今期大幅に改善した建設業は横ばいにとどまるものの、製造業、サービス業は引続き改善基調が継続し、製造業はプラス域に達し、サービス業もマイナス幅を大幅に縮小する見通しです。また、小売業も小幅ながら改善することが見込まれます。

※建設業の売上高は完成工事高



全産業の推移

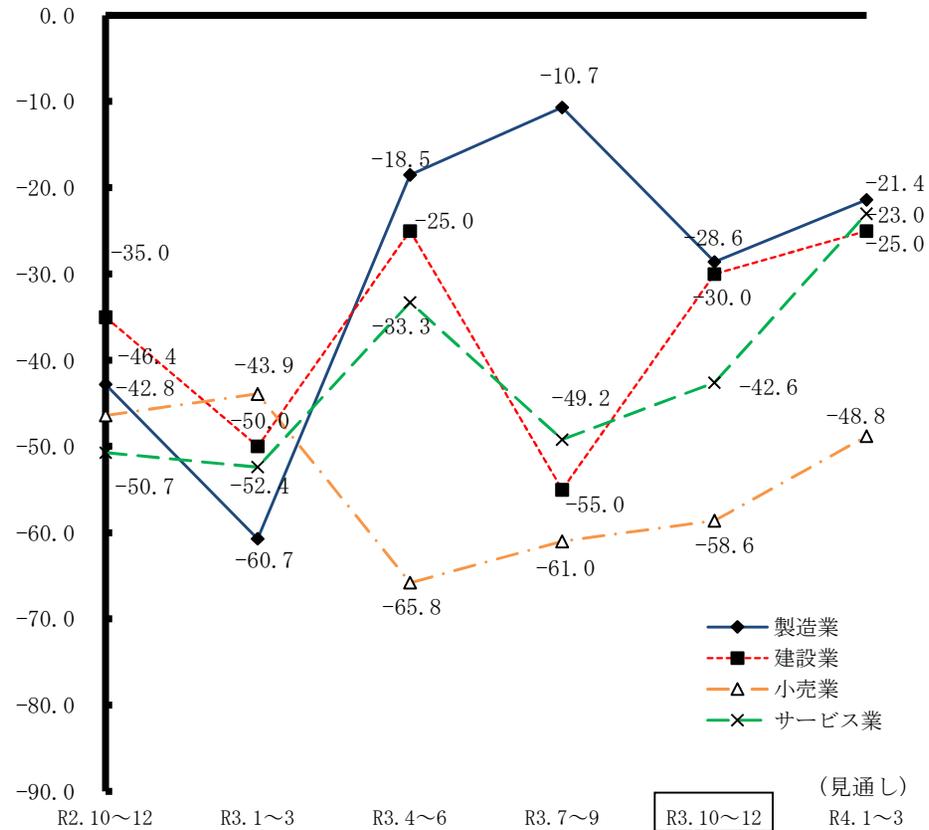
採算

建設業、サービス業、小売業において改善 製造業が悪化に転じる

今期の採算D・Iは、前期大幅に悪化していた建設業が25.0ポイント上昇して△30.0まで改善、サービス業も改善に転じ、6.6ポイント上昇して△42.6となっています。また、小売業も小幅ながら2期連続の改善となり2.4ポイント上昇して△58.6となりました。2期連続して大幅に改善していた製造業は、今期は悪化に転じ、17.9ポイント低下して△28.6となっています。

来期は、全業種が上昇に転じる見通しです。サービス業においては大幅な改善が見込まれ、また、小売業は3期連続して改善する見通しとなっています。

※採算は各業種とも経常利益



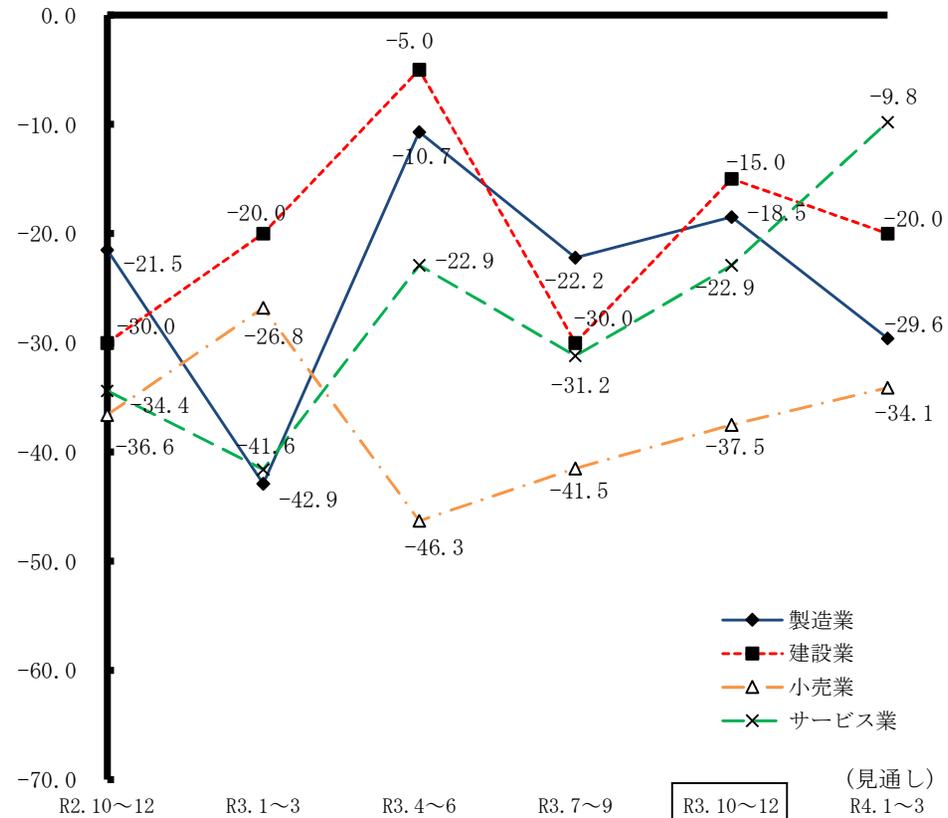
全産業の推移

資金繰り

全業種において資金繰りD・Iが改善

今期は、全業種において資金繰りD・Iが改善しました。前期大幅に悪化していた建設業が15.0ポイント上昇して△15.0まで回復しました。また、サービス業も8.3ポイント上昇して△22.9、製造業も3.7ポイント上昇して△18.5まで改善しています。小売業は2期連続の上昇となり、△37.5まで回復しています。

来期は、サービス業、小売業において今期に引続き資金繰りの改善が見込まれるものの、建設業、製造業においては悪化に転じる見通しとなっています。

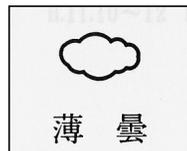


製造業の推移

売上高

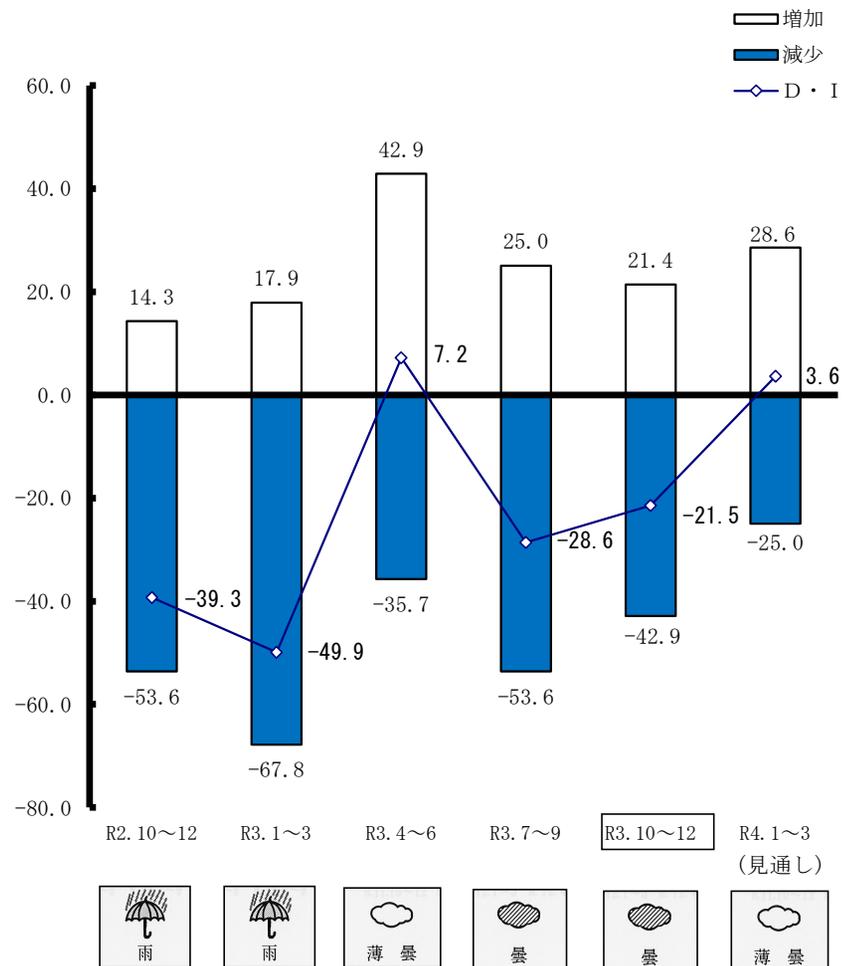
<今 期>

<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合が3.6ポイント減少したものの、売上高減少企業の割合が10.7ポイント減少したことから、売上高D・Iは7.1ポイントの上昇となって△21.5まで改善しています。

来期は、売上高の増加を予想する企業割合が増加し、また、売上高の減少を予想する企業割合も減少することから、売上高D・Iは引続き上昇し、プラス域まで回復する見通しです。

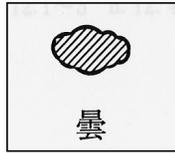


製造業の推移

採算

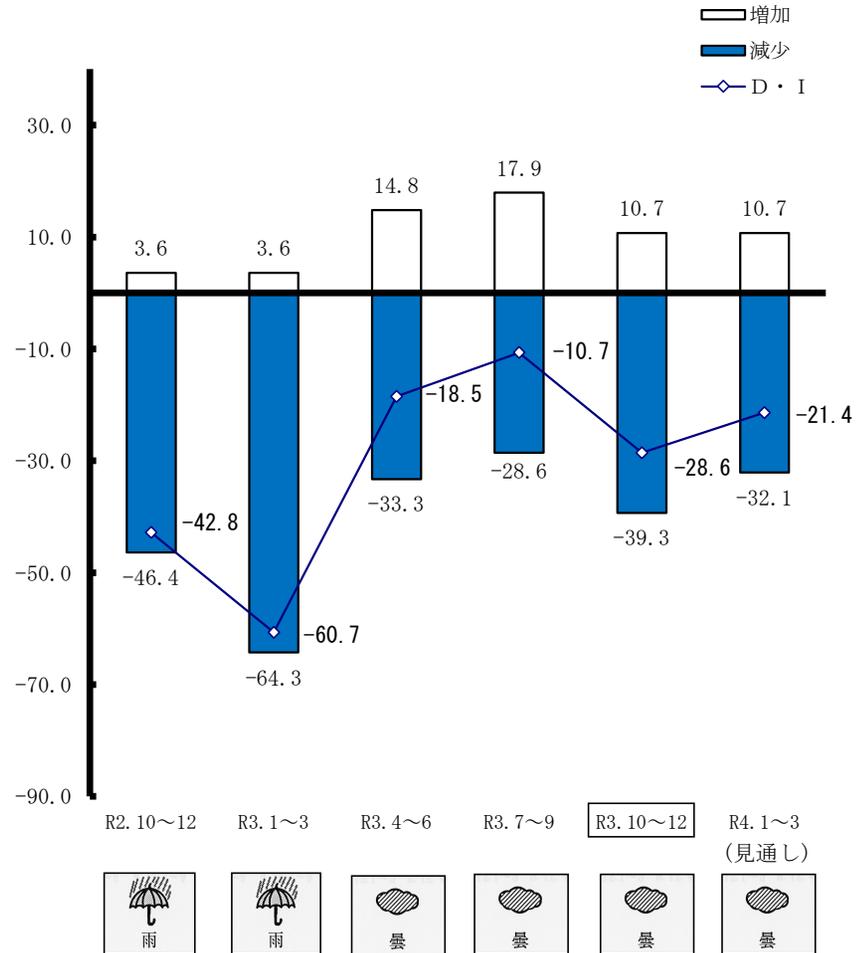
<今 期>

<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業の割合が7.2ポイント減少し、採算が悪化した企業の割合が10.7ポイント増加したことから、採算D・Iは17.9ポイントの低下となり△28.6まで悪化しました。

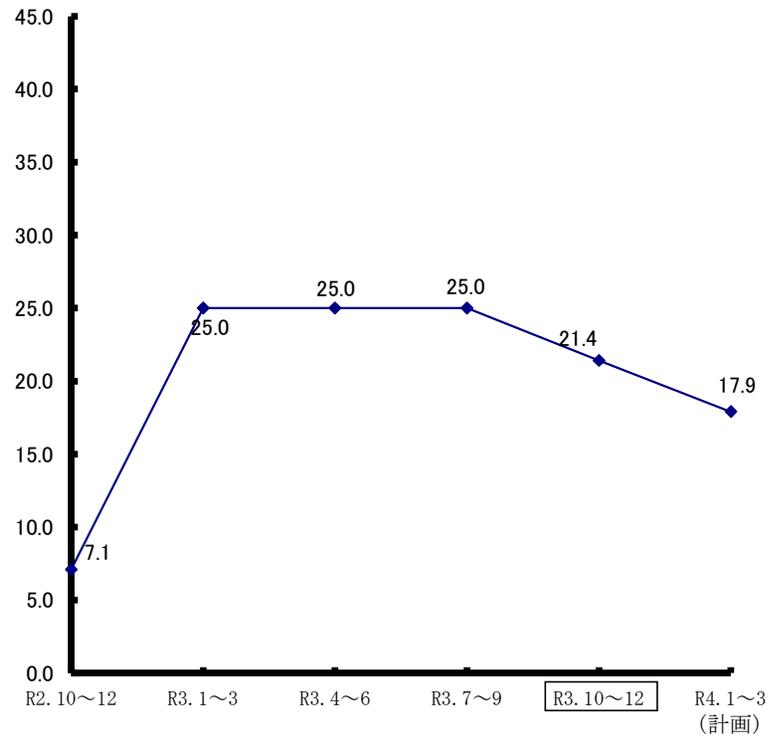
来期は、採算の改善を予想する企業は今期と横ばいとどまるものの、採算の悪化を予想する企業割合が減少することから、採算D・Iは、改善に転じることが予想されています。



設備投資

今期製造業において設備投資を実施した企業数の割合は、前期から3.6ポイント減少し、21.4となりました。比較的高い割合を維持しています。

来期は、設備投資を実施する企業数の割合は引続き減少することが見込まれ、17.9まで低下する見通しです。



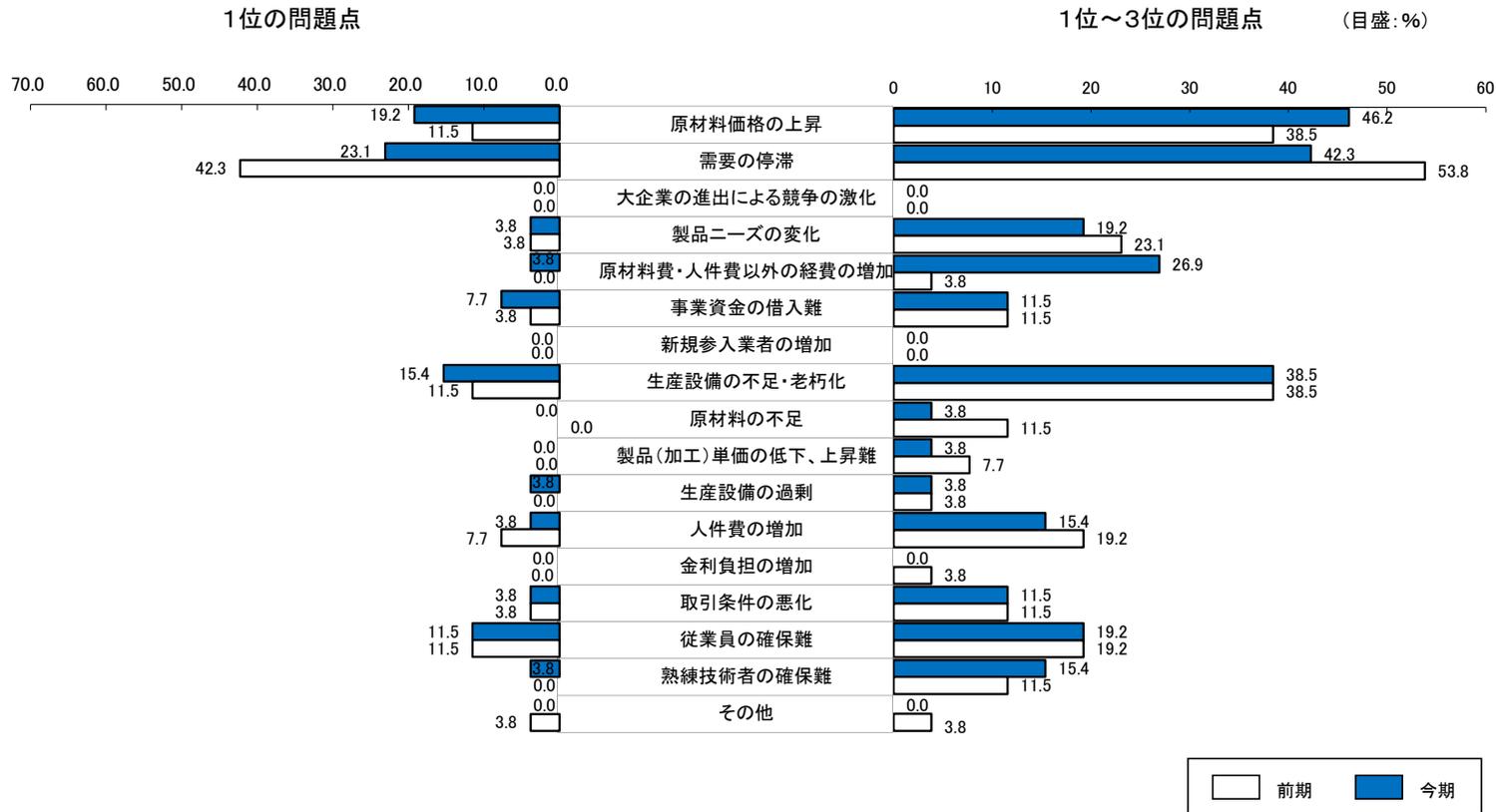
(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

製造業の推移

経営上の問題点

岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



建設業の推移

売上高

<今 期>

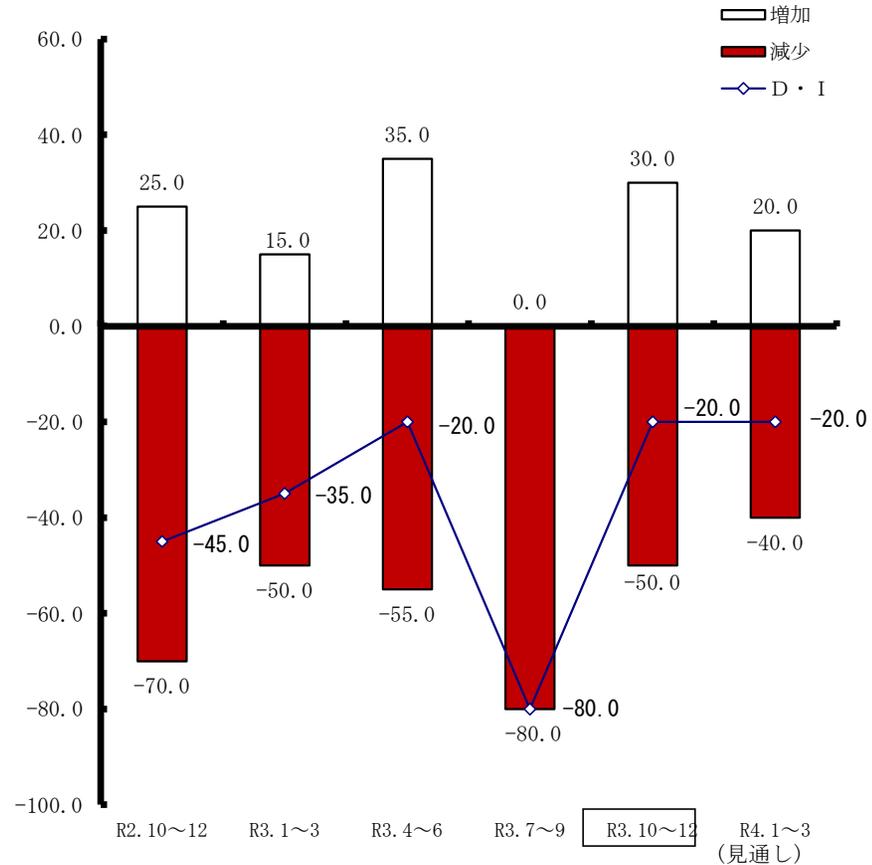


<来期見通し>



前期大幅に悪化していた建設業の売上高D・Iは、今期は大幅に改善しました。今期は、売上高が増加した企業割合が30.0ポイント増加し、売上高が減少した企業割合が30.0ポイント減少したため、売上高D・Iは大幅な上昇となり△20.0まで改善しました。景況天気図も雨から曇へ変化しています。

来期は、売上高の増加を予想する企業の割合減少するものの、売上高の減少を予想する企業の割合が減少するため、売上高D・Iは今期と横ばいとなることが予想されます。



※建設業の売上高は完成工事高



採算

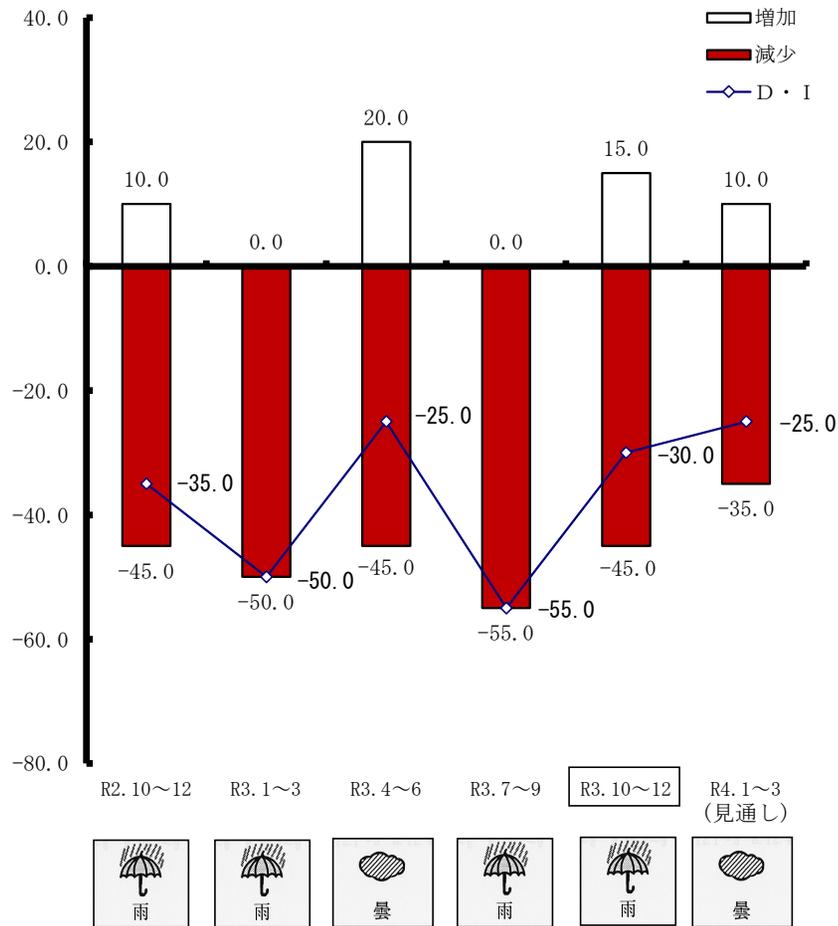
<今 期>

<来期見通し>



今期は、採算の好転を挙げた企業の割合が15.0ポイント増加し、また、採算が悪化した企業の割合が10.0ポイント減少したため、採算D・Iは25.0ポイントの大幅な上昇となり、△30.0まで改善しました。

来期は、採算の好転を予想する企業は減少するものの、採算の悪化を予想する企業割合が引き続き減少することが見込まれることから、採算D・Iは今期に引き続き改善し、景況天気図が雨から曇へと変化することが予想されています。



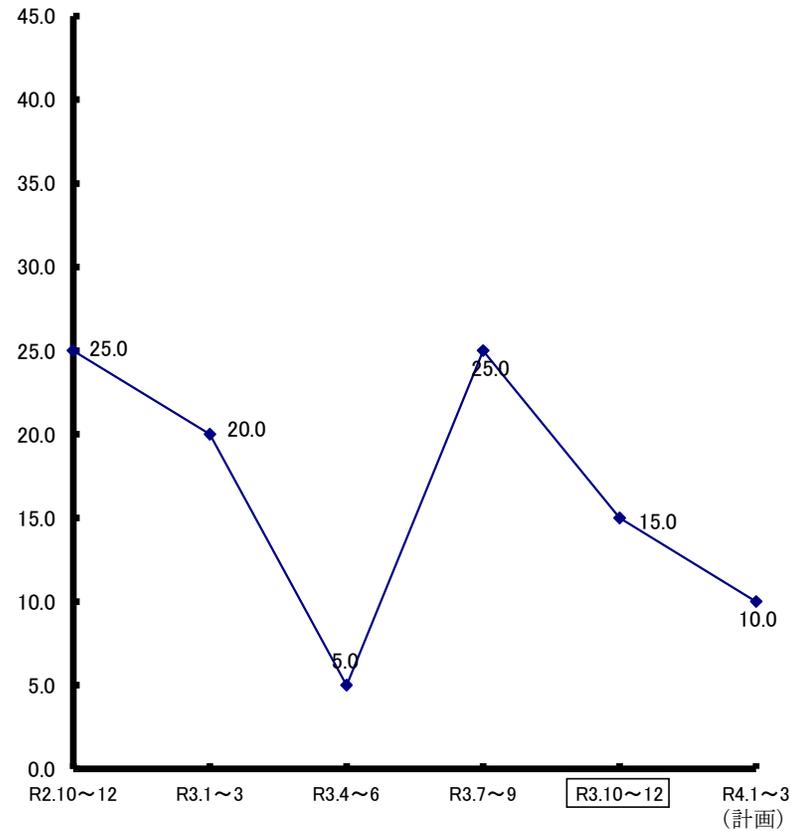
建設業の推移

設備投資

建設業において設備投資を実施した企業数の割合は、前期は25.0まで上昇していましたが、今期は減少に転じ、15.0にとどまっています。

来期は設備投資を実施する企業数の割合は引続き減少し、10.0まで低下する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

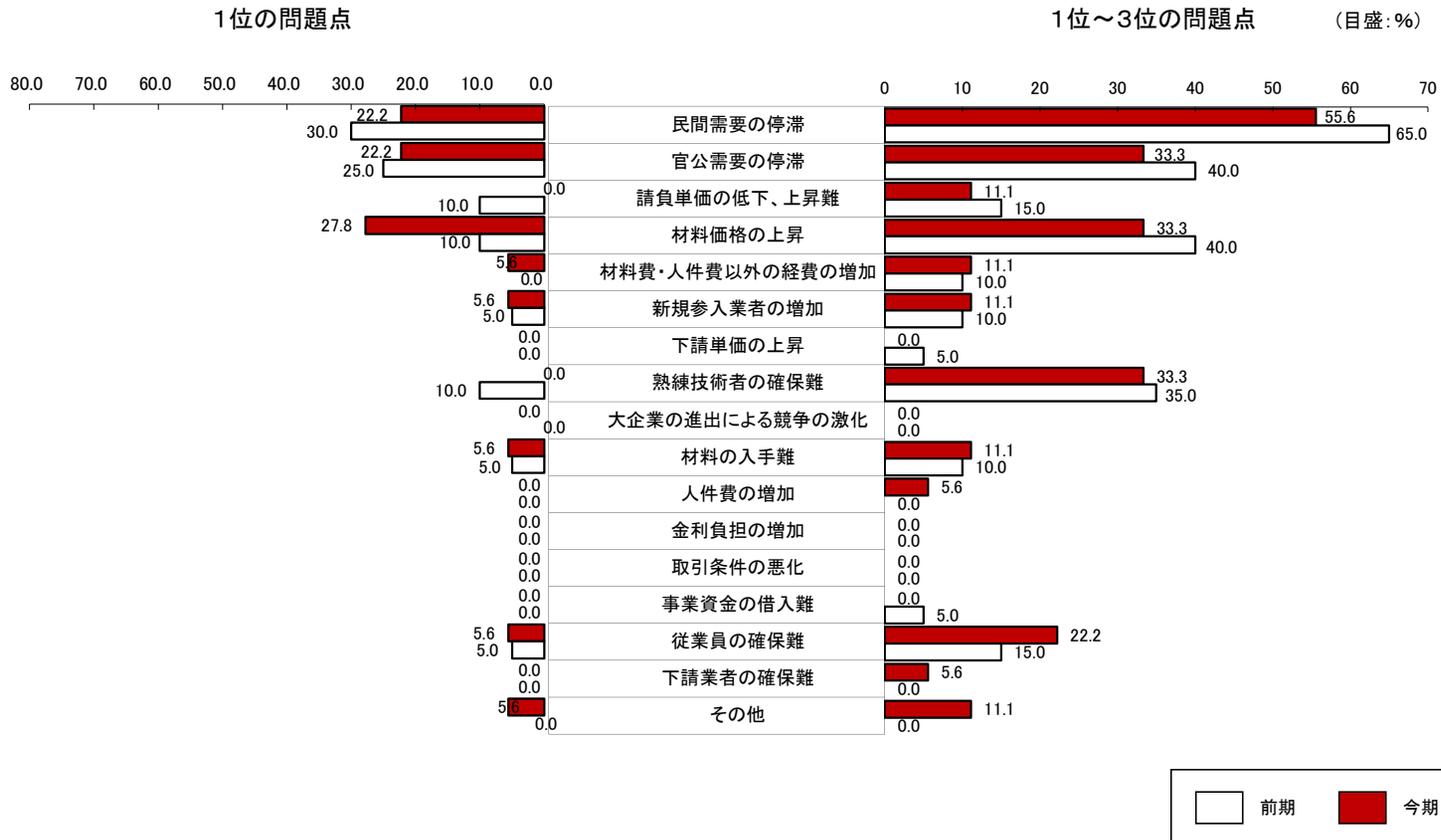


建設業の推移

経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



小 売 業 の 推 移

売 上 高

<今 期>

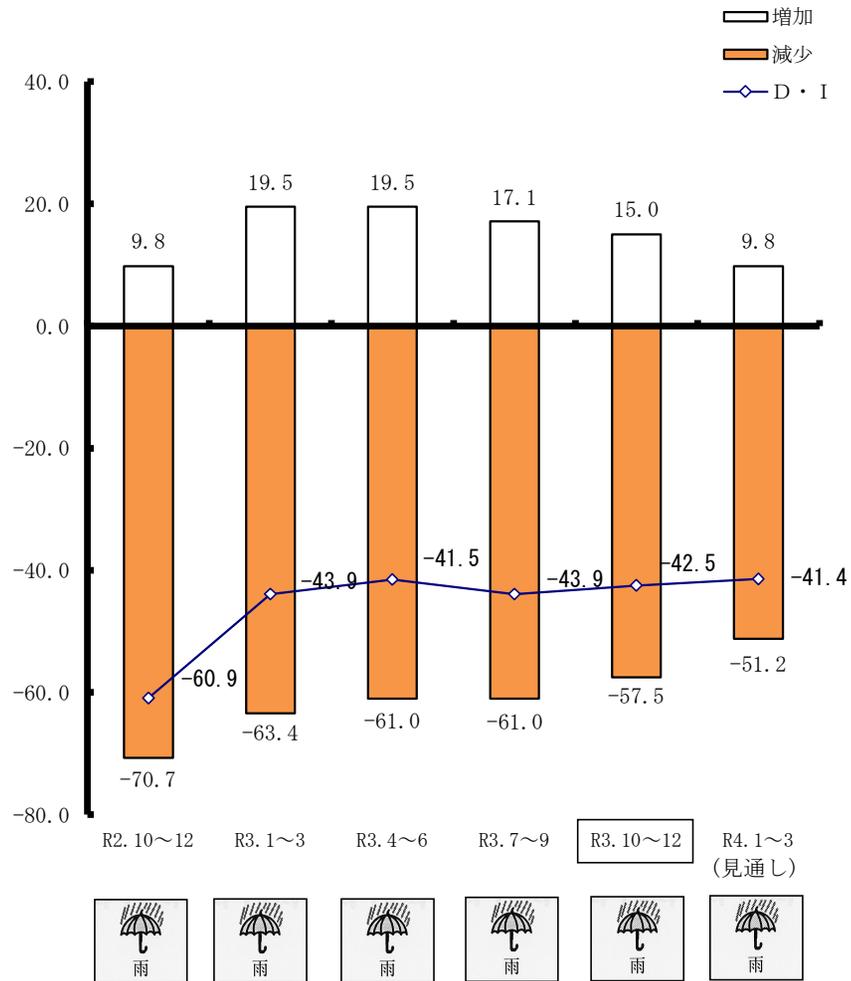


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合2.1ポイント減少したものの、売上高減少企業の割合が3.5ポイント減少したため、売上高D・Iは1.4ポイント上昇して△42.5となりました。依然として低い水準に留まっています。

来期は、売上高の増加を予想する企業割合が引き続き減少する一方、売上高減少を予想する企業割合が引き続き減少するため、売上高D・Iはほぼ横ばいとなる見通しです。



小売業の推移

採算

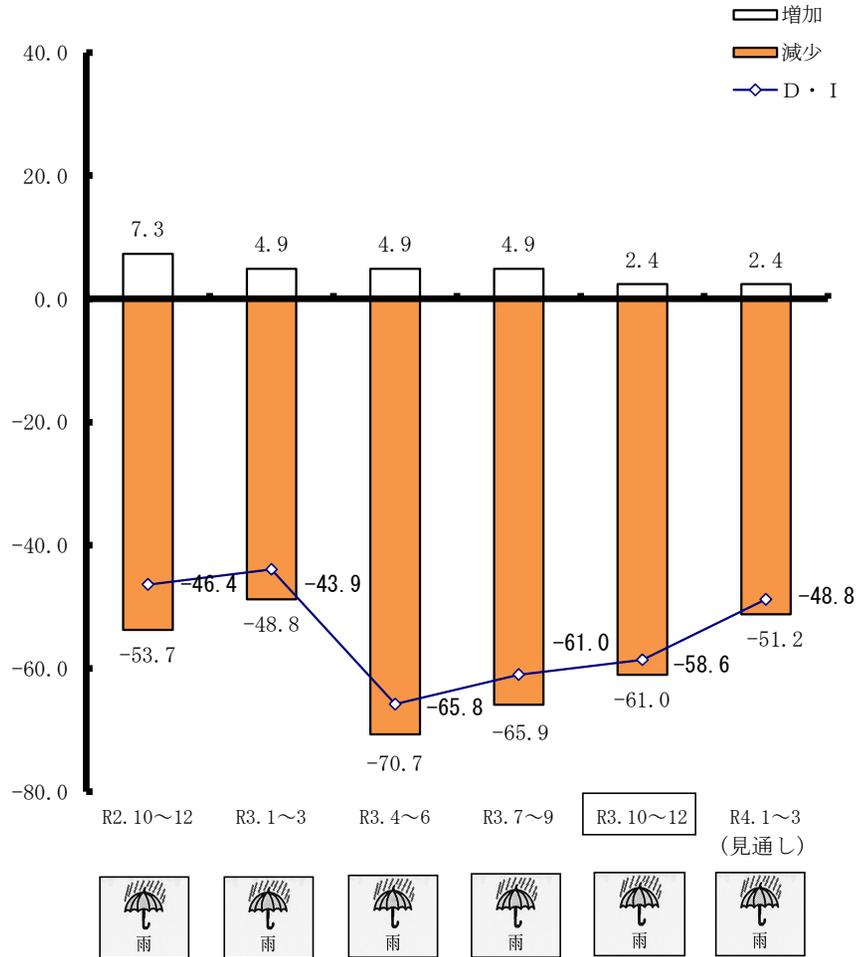
<今 期>

<来期見通し>



今期は、採算が好転した企業の割合は前期と同様低いレベルにとどまった一方で、採算が悪化した企業割合が4.9ポイント減少したため、採算D・Iは僅かながら上昇し、△58.6となりましたが、依然として低い水準に留まっています。

来期は、採算の好転を予想する企業割合は横ばいに留まるものの、採算の悪化を予想する企業割合が減少するため、採算D・Iは上昇に転じ、△48.8までマイナス幅を縮小する見通しです。

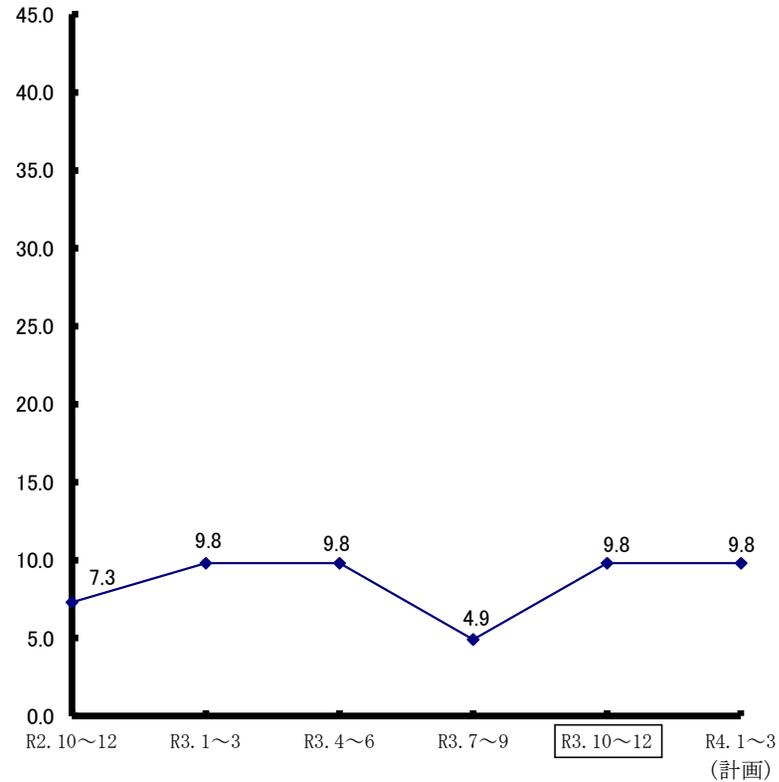


小売業の推移

設備投資

小売業において今期設備投資を実施した企業数の割合は、増加に転じ、9.8まで上昇したものの、10.0を下回る水準で推移しています。

来期は、設備投資を計画している企業数の割合は今期と同じ低いレベルにとどまる見通しです。



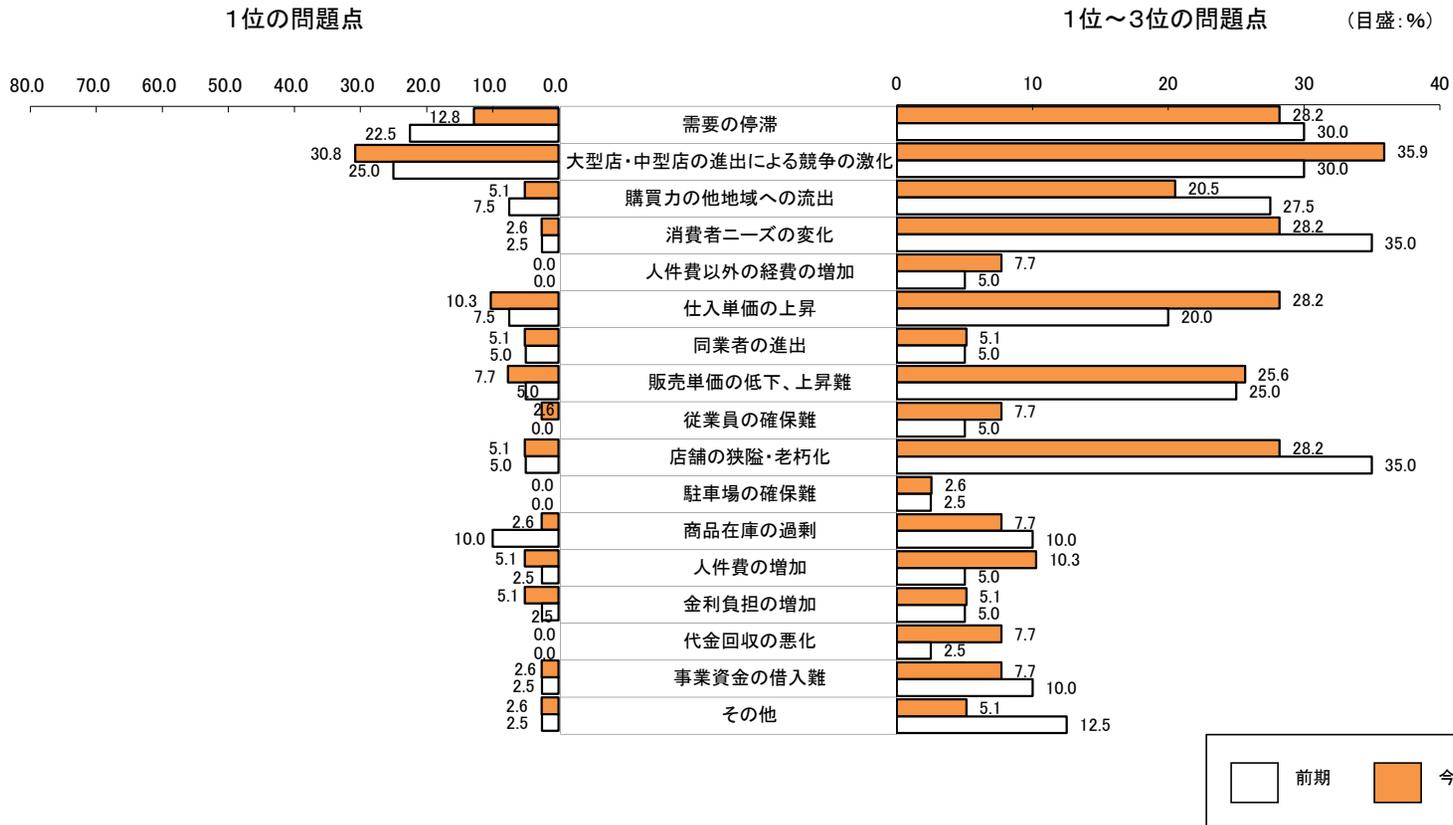
(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

小売業の推移

経営上の問題点

岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



サービス業の推移

売上高

<今 期>

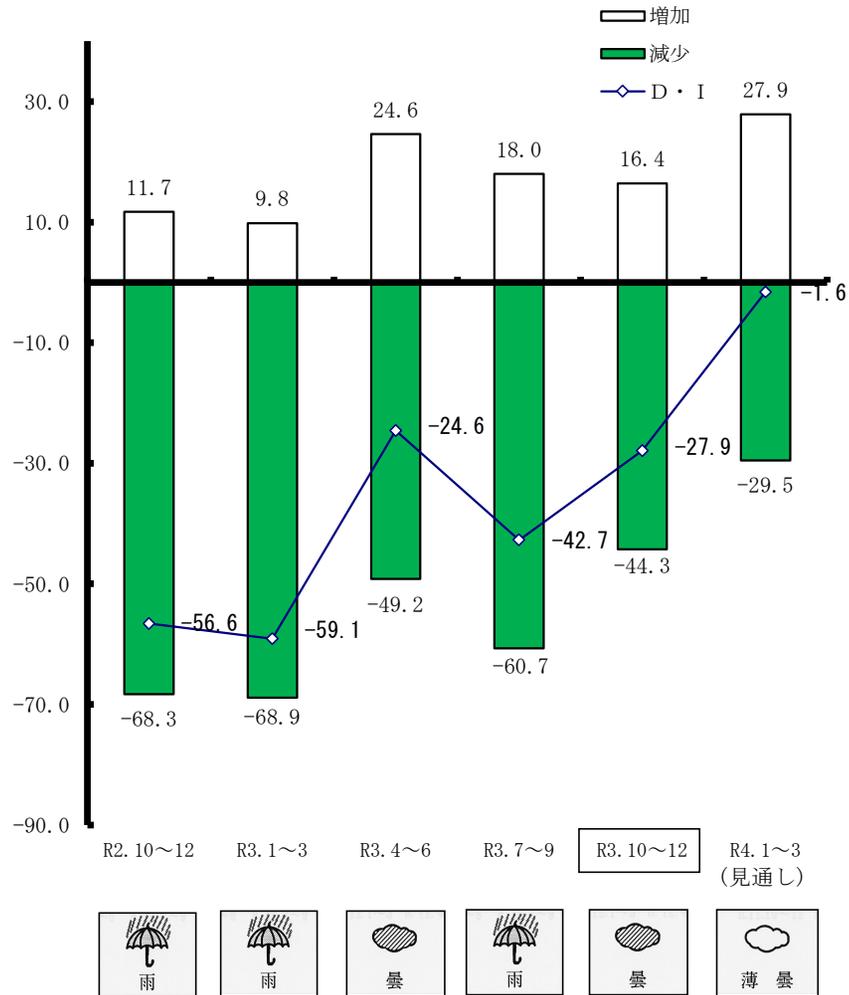


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合が僅かに減少したものの、売上高減少企業の割合が16.4ポイント減少したため、売上高D・Iはマイナス幅を縮小し、△27.9まで改善しました。景況天気図も雨から曇へと変化しています。

来期は、売上高増加を予想する企業の割合が11.5ポイント増加し、売上高減少を予想する企業割合も14.8ポイント減少することから、売上高D・Iは引続き上昇してマイナス幅を大幅に縮小し、プラス域近くまで改善する見通しです。



サービス業の推移

採算

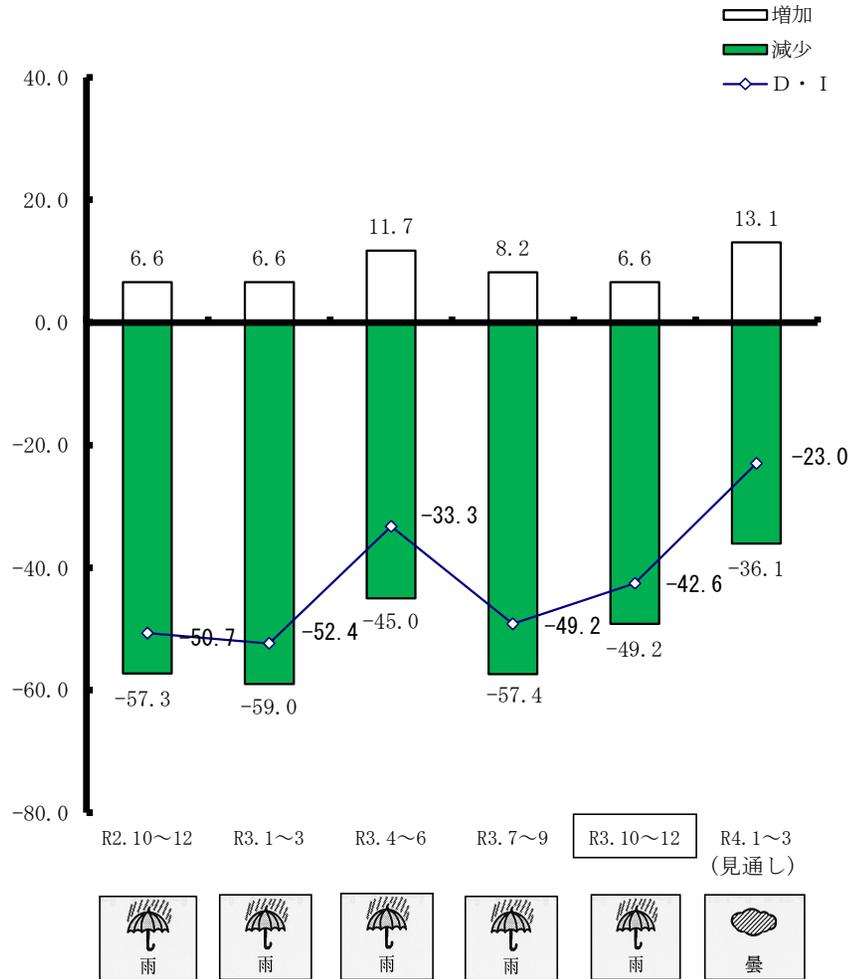
<今 期>

<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業割合は1.6ポイント減少し、また、採算が悪化した企業割合が8.2ポイント減少したことから、採算D・Iは6.6ポイント上昇し、△42.6まで改善しました。

来期は、採算の好転を予想する企業割合が増加に転じ、採算の悪化を予想する企業割合が減少することから、採算D・Iは引続き上昇し、△23.0まで回復し、景況天気図が雨から曇へと変化する見通しです。

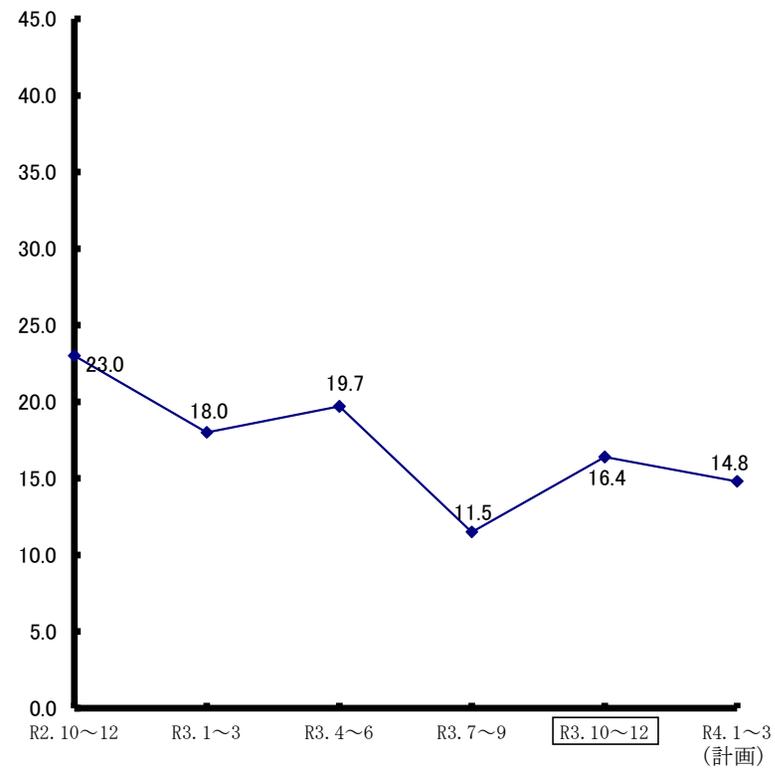


サービス業の推移

設備投資

前期減少に転じていた設備投資を実施した企業数の割合は、再び増加に転じており、16.4となりました。

来期は、設備投資を実施する企業数の割合は再び減少に転じ、14.8にとどまる見通しです。



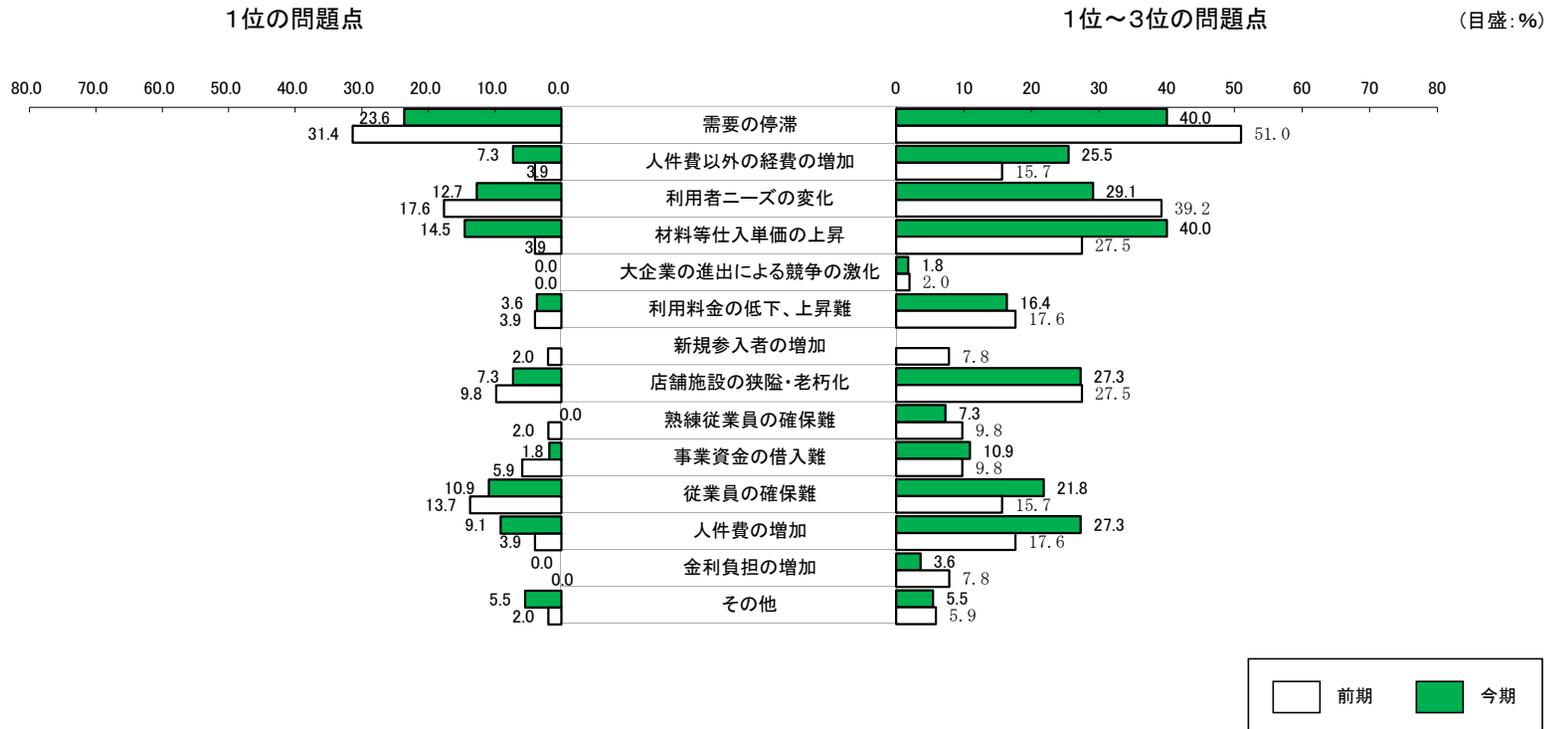
(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

サービス業の推移

経営上の問題点

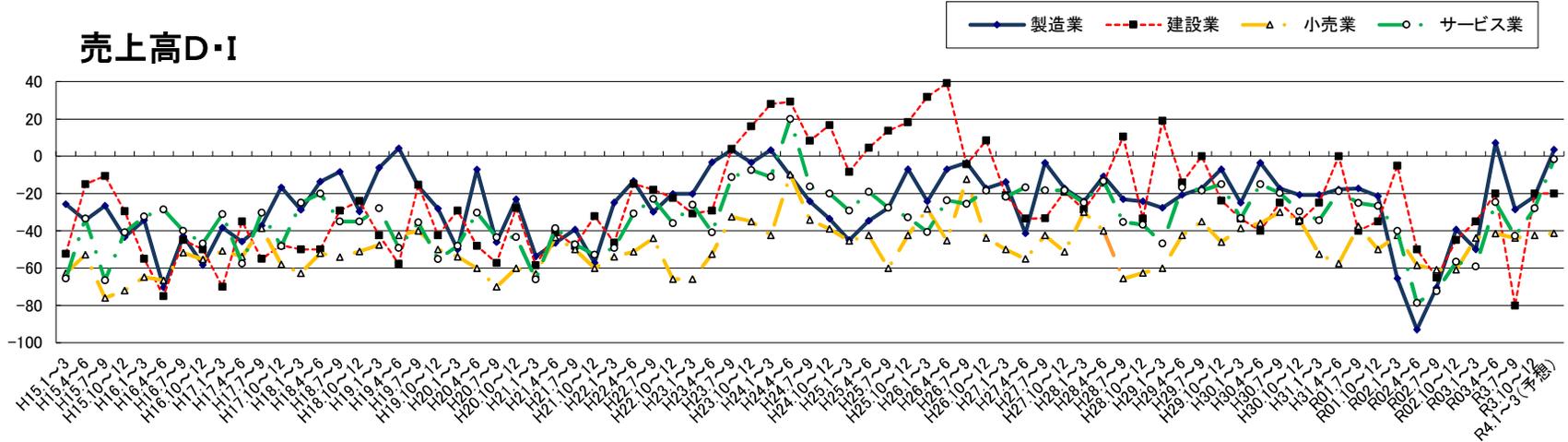
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

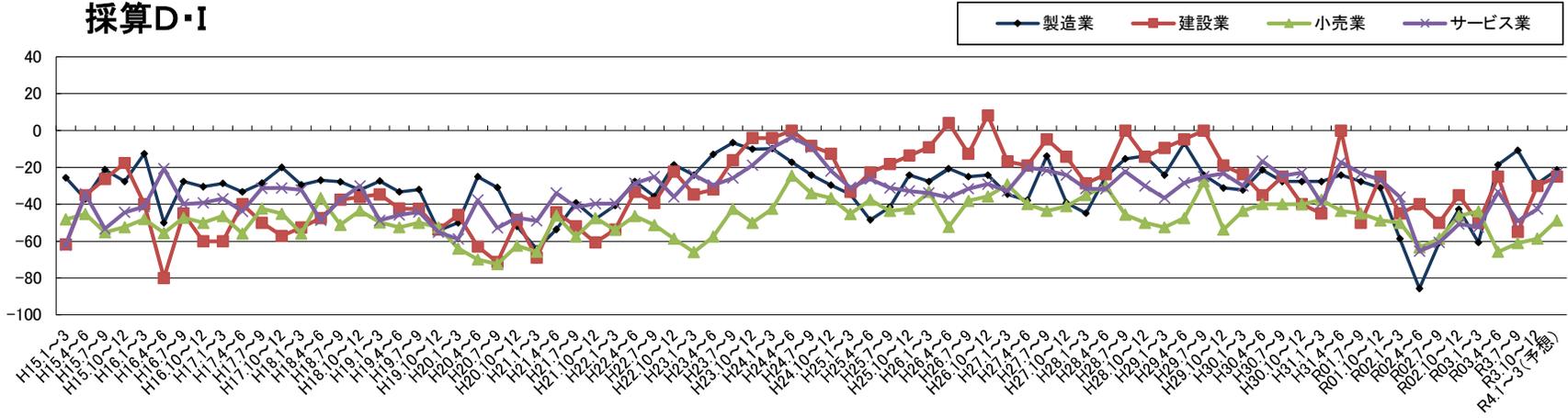


全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)

売上高D・I



採算D・I



集 計 資 料

調 査 要 項

1. 調査対象 (1) 対象地区 県内10商工会地区 八幡平市、葛巻町、矢巾町、平泉、住田町
(商工会名) 大槌、岩泉、野田村、洋野町、一戸町
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 150 企業
2. 調査対象期間 令和3年7月～9月を対象とし、調査時点は令和3年9月1日としました。
3. 調査方法 (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。
(2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。

4. 対象企業等内訳

業種	項目	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 (%)
製造業 (地域産業)		28 (18.7)	28 (18.7)	100.0
建設業		20 (13.3)	20 (13.3)	100.0
小売業		41 (27.3)	41 (27.3)	100.0
サービス業		61 (40.7)	61 (40.7)	100.0
		150 (100.0)	150 (100.0)	100.0

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. その他 本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で、各調査項目についての増加 (上昇、好転、長期化) 企業割合と減少 (低下、悪化、短期化) 企業割合の差を示すものであります。